

令和7年3月 市議会定例会

令和7年度当初予算を可決

一般会計は過去最大規模の予算編成

平塚市議会は、令和7年2月14日から3月17日まで、32日間の会期で3月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、令和7年度予算や条例の一部改正など、36案件が提出されました。審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

今定例会では、令和7年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の予算を可決しました。

一般会計予算は2年連続で1千億円を超える1059億8千万円となり、前年度当初予算と比較して、57億3千万円、5・7パーセントの増加となり、過去最大規模の予算となりました。また、特別会計予算は964億8060万円、公営企業会計予算が350億3300万円となり、全会計の総額は2374億9360万円となりました。前年度当初予算と比較して、133億7090万円、6・0パーセントの増加となります。

7年度の財政については、市税について個人所得の増加や企業の積極的な設備投資などにより、個人市民税や固定資産税が大きく伸びたことで、市税総額として過去最高の税収を見込んでいます。一方、社会保障関係費や人件費などの義

務的経費が依然として伸び続ける中で、老朽化が進む公共施設の維持補修費や、行政サービスの向上に向けた民間委託などの物件費も急激に上昇しており、厳しい財政状況は継続しています。

7年度は、活性化する社会経済活動の動きに弾みをつけ、市制施行100周年も見据えた未来に向けて、着実に歩みを進めるための予算として、「総合計画のさらなる推進」と「持続可能なまちづくりの推進」を基本方針に定め、編成しています。

秋には龍城ヶ丘に海辺の総合公園がオープンします。公園とビーチパークを結ぶ海岸園路も併せて整備することで、公園から新港までがつながり、海岸エリアの回遊性が向上するなど、更なる魅力アップを図るほか、アメリカ合衆国ローレンス市との姉妹都市提携が35周年を迎えることから、記念事業としてローレンス市公式訪問団を受け入れます。また、中学校の体育館への空調設備の設置などに向け、将来を見据えて道筋をつけていきます。

◆平塚市文化公園会館の設置及び管理等に関する条例を可決

平塚市文化公園会館の設

置及び管理等について必要な事項を定めるための条例が提案されました。

質疑では、施設の設置所管が教育委員会ではなく、産業振興部になった理由や、これまでの青少年会館の学習室に代わるスペースの設置、3館で登録していた団体の減免などが問われました。

採決の結果、賛成多数で可決されました。

◆重度障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例を可決

対象者の見直しに伴い規定を整備するほか、所要の改正を行うための条例が提案されました。

質疑では、今後65歳で医療費助成の線引きがされることに対する市の見解などが問われました。

採決の結果、賛成多数で可決されました。

◆平塚市屋外広告物条例の一部を改正する条例を可決

点検義務等に係る規定を整備するほか、所要の改正を行う条例が提案されました。

質疑では、条例改正により対象物件がどれくらい拡大されるのかなどが問われ、採決の結果、全員異議なく可決されました。

◆人事案件に同意

人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。
○金子みどり氏(岡崎)

今定例会で提出された令和7年度予算について、総合計画に掲げる4つの重点戦略に関連する取り組みの中から主な事業を紹介します。

主な事業を紹介

令和7年度
当初予算

〈〈〈常任委員会での審査概要は6・7面に

子どもを育む環境づくり

- 介助員派遣事業(1億6867万円)
…医療的ケアが必要な児童・生徒が学校生活を円滑に送れるよう、医療的ケア学校看護師の体制強化
- 民間保育所施設整備支援事業(7億7693万円)
…民間保育所等の施設整備や幼稚園の認定こども園化のための施設整備に伴う費用を助成

活気あふれる産業づくり

- 商店街にぎわい創出事業(1192万円)
…空き店舗対策に係る補助を拡充するとともに、駅周辺地区の商店会が実施する販売促進事業に対する支援を充実

高齢者の想いに寄り添う環境づくり

- 予防接種事業(11億6570万円)
…带状疱疹ワクチンの定期予防接種を開始
- 介護保険施設整備等助成事業(4億9083万円)
…地域密着型特別養護老人ホームなどの整備を支援

安心・安全で快適なまちづくり

- 地震・津波防災対策事業(1億4014万円)
…避難所におけるマンホールトイレの整備
- 消防指令センター運営事業(7387万円)
…通報現場と消防指令センターとの間で映像や位置情報を迅速かつ的確に共有できる映像通報システムを導入

主な内容

代表質問・総括質問 — 2~7面

清風クラブ 2・4

諸伏清児 佐藤貴子 須藤量久
黒部栄三

公明ひらつか 2・5

上野仁志 石田美雪 五十嵐豊

湘南フォーラム 3・5

小泉春雄 出村 光 久保田聡

しらさぎ・無所属クラブ 3・6

江口ともこ はた文昭

日本共産党平塚市議会議員団 6

高山和義

無所属 7

白井照人 佐藤由美子

常任委員会の審査概要 — 6・7面

審議の結果 8面

代表質問

3月定例会では、会派を代表する4人の議員が、年度の予算などについて「代表質問」を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

諸伏 清児 議員

時代の潮流を捉えて

■施政方針から

問 令和7年度の予算編成において、一般会計では2年連続で1千億円を超える過去最大規模の予算編成となった。大型予算に市民はどのような期待をされているのか伺う。

市長 7年度の予算では、上昇基調が続く市税を積極的に市民に還元するため、総合計画を着実に推進するとともに、昨年策定した「あつたかひらつか」のスローガンのもと「住みたい」、「住み続けたい」、「住んでいてよかった」と思ってもらえるまちづくりを力強く推し進める予算として編成した。



策や、災害時の避難所における環境整備を踏まえ、これまでも要望してきた。今回の大野中学校・中原中学校・大住中学校の体育館へのエアコン設置の取り組み内容について伺う。

市長 建築年数が古く、面積が異なる3校の中学校体育館へ試行的に設置する。供用開始予定は8年7月であり、授業や部活動における暑さ対策として、良好な教育環境を確保するとともに、避難所としての環境改

■消防のDX

善を図る。

問 119番の通報者がスマートフォンを使い現場の状況を映像で伝え、送られた映像を指令センターが確認し、指示を出すことが可能であるシステム「Live119」は、令和6年10月から試験運用され、7年度から本格導入となるが、試験運用からの取り組みについて伺う。

218件の試験を行い、そのうち162件の映像などの共有に成功した。これにより救急通報では、応急手当などの口頭指導をより正確に伝えることができたほか、火災通報なども災害状況をいち早く把握し、出動部隊への情報提供が迅速に行えたことで、実効性の高い消防救急活動が可能となった。



Live119 (イメージ図)

能登半島地震を踏まえて

問 令和6年3月議会において、井戸水の活用について質疑した。井戸の使い道については、今後の研究課題とするという答弁であったが、6年度において取り組みを伺う。

防災・危機管理監 市内の事業者が設置をした井戸か

ら、災害時に井戸水を供給してもらえ協定を1件結ぶことができた。また市内の寺院を対象に災害時の協力井戸としての登録を依頼したところ、4寺院に登録してもらった。井戸水の活用については、国がハザードマップに明記する指針を作るが、そのようになれば災害井戸の取り組みは広がると考える。本市の今後の考え方について伺う。

防災・危機管理監 現在、国が災害時を想定して、井戸水や地下水の活用を推進しているが、運用の指針は策定中である。地下水の活用は大変重要だと考えているが、国が策定した内容の詳細をよく確認したいと考えている。

公明ひらつか

上野 仁志 議員

未来を拓く確かな市政を

市長に問う
予算編成
問 落合市政の成果と、令和7年度予算にどう反映したのか伺う。

市長 当初予算は、好調な税収が下支えとなり、1千億円を超える過去最大の予算規模となった。これはツインシティ大神地区の整備や本社機能の誘致など、これまでの施策が実を結んだものである。今後は、しっかりと市民に還元していく



ことが私の責務であると考えている。当初予算は、子どもを育む環境づくりや、海岸エリアの魅力アップ、防災対策の強化などを強く推し進める編成とした。

■地域活性化

問 賃上げ応援奨励金の評価と今後の見解を伺う。

市長 中小企業の賃上げを後押しするために創設した賃上げ応援奨励金は製造業、建設業、運送業など幅広い事業者から申請があり、中小企業の人材の流出防止や従業員のモチベー

ション向上などにつながったものと考えている。令和7年度も中小企業の賃上げを後押しし、国などの制度とも連動して実施する。

問 個人事業主へ向けた周知について伺う。

産業振興部長 中小企業は6年度3パーセント以上の賃上げで10人以上雇用している事業者を対象にスタートし、途中で賃上げ率を2パーセントに引き下げたが、7年度は国の制度に合わせ1・5パーセント以上の賃上げで、5人以上雇用している事業者を支援する予定である。個人事業主も賃上げ促進税制の対象になっていることをしっかりと周知していきたいと考え

■担い手支援

問 エssenシャルワーカーの担い手不足に対する

■災害対策

問 スフィア基準に照らした避難所における女性の視点や支援の充実に対する考えを伺う。

教育長に問う

問 中学校3校の設置スケジュールと設置の考えを伺う。

教育長 令和7年度に入札・契約後、事業者による設計・施工を経て、8年7月の供用開始を予定してい

る。市内全体の小中学校への設置については、今回の3校の試行設置の検証を踏まえて検討する。

問 体育館の断熱化を今回の工事でのように進めるのか伺う。

教育長 これまでの事例研究や視察などから、断熱改修を施さなくても空調の効果が見込めることが確認できたため、断熱改修は行わない予定である。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。



湘南フォーラム

小泉 春雄 議員

職員の個人情報持ち出しはダメ

問 市長給与の増減額の推移を伺う。

市長 審議会からの答申を踏まえた改定状況だが、平成8年4月に1万5千円を増額し、103万1千円。その後15年4月に2万2千円を減額、16年4月に1万2千円を減額し、現在の月額99万7千円とした。

問 答申以外で給与を減額した理由と額、期間を伺う。

市長 1期目では防災対策や財政健全化のため、23年

10月から27年4月末まで約2160万円を減額。2期目では財政健全化への取り組み姿勢を明確にし、範を示すため、27年10月から31年4月末まで約750万円を減額。3期目では元職員による個人情報持ち出しへの責任を明確にするため、令和元年10月から同年末まで約61万円、また、新型コロナウイルス感染症による経済対策のため約460万円を減額した。減額総額は約3400万円である。

問 不祥事に関して、市長以外の特別職も減額をしている。削減総額を伺う。

総務部長 元職員の個人情報持ち出しにより、副市長2人で約70万円、教育長が約31万円だった。これまでの特別職の削減総額は8200万円である。

問 市長の任期14年間の中で個人情報持ち出しをした職員を出したことは大きな汚点である。二度と起こさない決意を伺う。

市長 14年間の任期の中



で、個人情報を持ち出した職員を出したことを真摯に受け止め、研修も含め職員のあるべき姿を保たなければいけないと考えている。

市長14年間の成果

問 市長はこれまで多くのハード、ソフト事業で成果を上げているが、失敗だと思ふものはあるか伺う。

市長 事業自体失敗したものはないと思う。ハード整備ではツインシティ大神地区土地画整理事業や海岸の整備など、将来的に本市を良くするためのものだった職員を出したことは大きな汚点である。二度と起こさない決意を伺う。

中央公民館の今後

問 中央公民館の在り方の検討について伺う。

市長 令和7年度の早い段階で庁内組織を立ち上げ、ホール機能の維持や会議室などを含めた在り方の検討を進めていく。必要な機能や施設の規模、場所、複合化など多岐にわたる課題を整理しながら進めていく。

問 中央公民館の大ホールと同等の施設は必要である。ホールと会議室、商工会議所の機能を併せたような官民複合施設を検討する考えを伺う。

市長 中央公民館は市民活動の成果の発表の場である

と考えている。また、生涯学習や社会教育にホール利用は必要であるため、民の施設なども含め在り方を検討していきたい。

駅周辺地区将来構想

問 中心市街地に進むマンション建設や中小規模の再開発と平塚駅周辺地区将来構想との整合性を伺う。

市長 将来構想と併せてアクションプランを策定し、アクションプランに基づいた支援策を活用し、将来構想と整合のとれた民間の再開発を促していく。

市街化調整区域の遊び場確保

問 幾度となく地域の声を

しづみぎ・無所属クラブ

江口 ともこ 議員



貴重な財源は命を守るために使おう

なぜ市長給与を引き上げるのか

問 市長や理事者、議員など特別職の報酬引き上げの理由と、引き上げにより、市民生活がどのような状況になると考えているのか伺う。

市長 市職員を含めて、働く人に対してきちんとした賃金を確保することが主眼だった。市民生活を支える職員も含め、給料体系をしっかりと作り、市民生活を支えていきたいと考え提案した。

医療費助成に年齢制限 受診控え懸念

問 65歳を超えて重度の障がい者になった場合には、医療費の助成を廃止するとしている。例えば、腎臓機能障害などの特定疾病に罹患している人などは、公的医療保険や国・県の助成があるが、今回の提案は、重度障がい者になった者が病気になる場合、病気の治療を年齢で線引きするものである。がん治療などは高額療養費制度を利用するが、現実には医療費がかか

り治療が難しくなると思われる。セーフティーネットに線引きをすることになるため、丁寧に審議すべきだと思うが、見解を伺う。

福祉部長 重度障がい者に対する医療費助成制度は、生まれながらに、もしくは若いときに障がいを負って、十分な就労機会が得られず経済的に困窮する人の医療費を助成する制度である。この制度については、市としても安定的に継続をしていく必要があると考えているため引き続き、市全体の障がい福祉施策のバラ

ンスを見て取り組んでいきたい。

公務員の非正規職員契約更新上限撤廃を

問 現在の契約更新の上限は4回まで、5年間継続して働くことができるが、それ以上働く希望がある場合には、再度公募にエントリーする必要がある。雇用環境の改善や人材確保の観点から見直しをする必要があると思うがいかがか。

総務部長 会計年度任用職員の任期は一会計年度が基本だが、本市では人材確保の点から勤務成績が良好で業務上の必要性がある場合、4回の更新ができる運用を行っており、更新回数の上限に達した職員で希望する人は、再度公募による

過去に発行した議会だより

市議会ホームページでは、これまで発行したひらつか議会だよりをご覧ください。

声や点字の議会だより・・・

議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」や点字版も発行しています。ご希望の方は議会局までご連絡ください。(議会局 ☎21-8791)

砂で埋まる既存の平塚海岸園路 (4月1日現在)

竹柵の陸側に、新たに園路工事する

市が管理する公園施設であり、設置場所の南側にある既存の竹柵で飛砂を一定程度防げると考えているが、堆砂した場合は、予算の範囲内で適切な方法で除去していく。浜辺のさんぽ道の砂の除去は、堆砂状況に応じて行っているが、ビーチパークの指定管理業務全体の中で実施しており、浜辺のさんぽ道だけの費用は算出していない。

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、平塚市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第238号(令和7年8月1日発行予定)に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。(議会局 ☎21-8791)

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、平塚市庁舎本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。



売却後、小学校周辺に新たに遊び場を整備することについて伺う。

まちづくり政策部長 設置する場所や規模、利用方法を話し合い、さらに設置する場所及び周辺の理解を得ながら熟度を高める必要があると考える。

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、11人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

重度障害者の医療費の助成

佐藤 貴子 議員

問 重度障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例が今定例会で上程されたが、改正に至った経緯を伺う。

福祉部長 重度障害者医療費助成は医療機関を受診した際の保険診療の自己負担分を助成する制度で、県が2分の1を補助している。本市では県の補助基準よりも、年齢や障害等級など対象範囲を拡大し、医療費を助成している。一方高齢化の進行による「親なき後問題」や重度重複障がい者の支援体制などの課題の顕在化、障がいの自立や社会参加が進み、グループホームや就労支援のニーズも増加している。重度障害者医療費助成も含め、本市の障がい福祉施策を見直し、評価すべき事業へ転換・拡充するとともに、重度障害者医療費助成を持続可能な制度とするものである。

問 就労移行支援や就労継続支援の拡充の取り組みを伺う。

福祉部長 一般就労を希望する障がい者に、就労に必要な訓練や適性に合った職場探しなどを支援する就労移行支援や、一般就労が困難な人に働く場を提供するとともに、就労に必要な知識・能力の向上を図る就労継続支援の障害福祉サービス給付費を拡充し、障がい者の権利と意思決定を尊重しながら就労を促進する。また、令和7年10月に施行予定の障がい者本人の希望を重視し、就労先や働き方について、よりよい選択をするための就労選択支援制度に対応し、障がい者の希望に沿った就労をより一層支援していく。

政策的医療の課題 感染症病床について

問 新型コロナ感染症対策では、平塚市民病院は一般病床を最大70床まで広げて対応した。市民病院が有する感染症病床6床は設置以来、何度か感染症患者の入院や訓練で使用している

が、現状と課題について伺う。

副病院長兼事務局長 新型コロナウィルス感染症のよ

うなパンデミックに対し、

当院の感染症棟では対応が

困難であったため、一般病

床を利用して対応した。現

在も引き続き一般病床を利

用して適切に対応してい

る。今後、新興感染症やパ

ンデミックに対応する医療

従事者の安全性を確保しつ

つ、感染症全般への確実な

対応と効率的な医療の提供

を成り立たせる施設の整備

が必要と考えている。

問 感染症病床の柔軟な活

用は、制度的に認められて

いるのか伺う。



もつと「選ばれるまち」に。

須藤 量久 議員

スマート農業の推進

問 新しい農業を平塚から発信する初年度となった令和2年度からのスマート農業導入支援の実績は、2年度から4年度で合計51件の交付で1億8755万5千円だった。5年度の実績と6年度の実績予定を伺う。

産業振興部長 スマート農業導入支援の5年度の実績は10件の交付で、2030万5千円、6年度は9件の交付で510万6千円を予定している。

問 2年度から4年度では51件の交付があり、直進アシスト機能付きトラクターの申請が24件あったが、5年度と6年度ではゼロ件だった。農業者に話を聞くと、直進アシスト機能付きトラクターから挑戦をした人が多いと感じる。広く農業者に挑戦をしてもらうため、農業者が望むものに補助を付けることが、より寄り添う支援になると思うが、見解を伺う。

産業振興部長 現在、制度設計の見直しをしており、

7年度に向けて、農業者の声を生かした制度を作っていきたいと考えている。

問 感染症病床の柔軟な活用は、制度的に認められているのか伺う。

副病院長兼事務局長 使用していない感染症棟はかなり無駄になっているため、将来的に感染症病床も活用できる工夫をしていきたいが、時間をかけて慎重に検討したいと考えている。

▼このほかの質問 こども発達支援室 市民病院・施設の維持管理について

問 南街区の具体的な施設概要について伺う。

福祉部長 医療街区には、令和7年7月に内科の外来診療機能を有する病床数236床の慢性期病院を、8月には入所100名、通所30名を定員とする介護老人保健施設が開所する予定である。福祉街区では現在、基礎工事が行われており、7年度中に本入所29床、短期入所10床の地域密着型介護老人福祉施設が整備される。

問 地域から提出された要望書だが、受け取った地域の声や思いを実現すること

問 平塚市地域防災計画(改訂素案)は、近年国内で発生した自然災害への対応などを踏まえ、防災・減災対策の実効性を高める各種施策の充実・強化を図る目的で今般改訂するが、避難所の備蓄品を伺う。

防災・危機管理監 備蓄計画に基づき飲料水や食料、液体ミルク、衛生用品、簡易トイレのほか、令和6年度は能登半島地震を教訓に、水やトイレに関する物品を拡充した。7年度も、簡易テントの拡充やポータ

ブル蓄電池の配備を行う予定である。

問 能登半島地震では多くの家屋が倒壊した。本市住宅の耐震化の進捗状況について伺う。

防災・危機管理監 5年度末時点の概算値で、93・4パーセントである。

問 本計画では平時からの水、トイレ、食料などの備蓄に関する防災知識の普及啓発の必要性が再認識されたとあるが、市民への普及啓発の方法を伺う。

防災・危機管理監 地域の自主防災組織や学校、事業所などが実施する防災訓練やSNSなどを活用し、日頃の備えの重要性を継続的に呼びかけ、防災意識の普及啓発を図っていく。

問 自治会で行う防災訓練が固定化され、参加人数が少ないが、対策を伺う。

防災・危機管理監 訓練内容については最近起こった災害の話や、派遣された職

清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



数田 俊樹 議員



野崎 審也 議員



片倉 章博 議員

公明ひらつか

誰もが、住んでいてよかった
と思えるまち平塚に

石田 美雪 議員

発達支援が必要な 子どもの学びの場と 居場所を切れ目なく

問 発達支援が必要な子どもの私立幼稚園での受け入れ促進に向けた補助金の見直しについて伺う。

教育長 私立幼稚園においても配慮が必要な子どもの受け入れに協力してもらえよう、現行の補助金制度を踏まえつつ、制度の改正

を検討している。

問 小学校の通級指導教室の今後の在り方の検討と、中学校への通級指導教室の設置について見解を伺う。

教育長 小学校通級指導教室について、特にまなびの教室では、担当教員が児童の在籍校を訪問し、指導を行う巡回指導の導入に向け、場所なども含め準備や調整を行っている。また中学校への通級指導教室の設

置については、小学校からの切れ目のない支援が行えることから、必要性を認識している。現在、近隣自治体の先行事例を調査研究し、成果や課題を情報収集している。

問 放課後児童クラブでの発達支援が必要な子どもの受け入れについて、考えを伺う。

教育長 共働き世帯など入所要件を満たせば、原則入所が可能である。入所にあたっては、きめ細やかな対応ができるよう、放課後児童クラブに対して指導助言

を行っている。

子宮頸がん検診の HPV検査単独法の 導入について

問 本市医師会へのアプローチについて伺う。

健康・こども部長 先行実施している自治体を視察し、地域医師会との課題も明確になった。今後、本市医師会をはじめとする医療機関の理解や協力をもらいながら研究していく。

ひらつかエコモード の推進について

問 市が発行する印刷物への古紙パルプ配合率の記載について見解を伺う。

環境部長 環境配慮への取

り組みとして、古紙配合率100パーセントの用紙を使用する事が最も有効であると考えている。本市が環

境に配慮した印刷物を作成する場合は、できる限り再生紙使用マークなどを表示してPRしていく。

带状疱疹ワクチン定期接種化 更なる公費助成の取り組みを

五十嵐 豊 議員

問 带状疱疹ワクチンは、我が党が全国各地で自治体独自の助成を推進し、国会質問などでも定期接種を主張してきた。令和7年4月からは定期接種化となるが、接種場所を伺う。

健康・こども部長 7年4月1日から市内約100の医療機関で実施予定である。財源を伺う。

健康・こども部長 本人負担の3割を除く経費は、主に一般財源で措置する。

問 市民への周知方法を伺う。

健康・こども部長 4月中旬に、がん検診と予防接種に関する情報をまとめたパンフレットを各戸にポストイングするとともに、広報ひらつか4月第3金曜日号にも掲載する予定である。

問 パンフレットは、誰が見ても分かりやすいナッジ理論の取り入れが必要だと考えるが、見解を伺う。

健康・こども部長 ナッジ理論を用いて図やスケッチ、専門家のコメントなどを取り入れ、工夫して作りたい。

問 定期接種の対象者が65歳になった理由は、50歳代から70歳代が患者数のピークになるためである。更なる市民のQOLの向上に向け、ほかの自治体と同様に50歳以上の人を対象にした本市独自の公費助成の取り組みを求めるが、見解を伺う。

▼このほかの質問 通学路の熱中症対策

湘南フォーラム

子どもを育む環境づくり、産業や安心・安全なまちづくり

出村 光 議員

いづも計画の進捗

問 平塚市いづも計画の周知について伺う。

健康・こども部長 市ホームページに公表しており、さらなる周知を図るため、公民館などに冊子を配架し、広く市民に示していく。

保育環境の向上

問 待機児童、保育児童の数と対応策を伺う。

健康・こども部長 令和7年2月時点の待機児童は1

活気あふれる産業

問 中小企業への雇用促進施策の効果と今後の取り組みを伺う。

副市長 企業合同就職面接会や合同会社説明会などを開催しており、効果があつたと考えている。2月にはウェブ求人サポートセミナーを開催し、28社が参加した。令和7年度も同様のセミナーを開催し、中小企業の雇用を後押しする。

教育施設改修の進捗

問 学校施設の大規模改修の状況と、学校のトイレ洋式化率の進捗などを伺う。

教育長 大規模改修は「平塚市学校施設の個別施設設計

安心・安全で 快適なまちづくり

問 マンホールトイレの設置状況を伺う。

防災・危機管理監 令和3年度から整備を始め、9年度に完了予定である。設置場所は避難所のうち市が管理する小中学校及び競輪場の44か所である。

問 トイレトレーラー導入に対する見解を伺う。

防災・危機管理監 本市では、マンホールトイレの整備に力を入れており、簡易トイレなど、トイレ環境の充実に取り組んでいる。

問 小中学校体育館への空調整備を伺う。

防災・危機管理監 空調機の設置は断熱性の確保などが主な課題だが、先進市の

この先の着実な 市政運営を見据えて

久保田 聡 議員

問 教育現場において、本市独自のハラスメントに関する要綱を制定し、相談窓口の周知により体制強化を図っていく事は重要と考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 市教育委員会において要綱の制定や相談窓口の設置は必要だと認

たと認識しているが、申請件数が大幅に増えたことにより、耐震診断技術者の確保が課題と捉えている。

▼このほかの質問 学力向上―英語力の強化 駅周辺地区商店街のにぎわい 河川の県への要望に対する進捗 中学校の部活動指導員

成することが重要と考えるが、見解を伺う。

福祉部長 本市で進めている市民後見人養成は、専門職後見人や親族後見人の人材不足を補う存在というより、本人への寄り添い型の支援を強化するためにスタートした。寄り添い型の支援ができる市民後見人に活躍してもらうため、今後市民後見人の養成を進めていきたい。

湘南フォーラム 所属議員



山原 栄一 議員



府川 正明 議員



岡崎 通子 議員



秋澤 雅久 議員

しらさぎ・無所属クラブ

平塚市下水道管の老朽化と道路陥没について

はた 文昭 議員



問 市内の下水道管の総延長と、県あるいは本市が管理する口径2千ミリメートル以上の下水道管の総延長は、それぞれどのくらいあるのか伺う。

土木部長 市内下水道管の総延長は約1235キロメートルあり、口径2千ミリメートル以上の総延長は約12・5キロメートルある。内訳は県が約7・3キ

ロメートル、本市が約5・2キロメートルである。

問 市内道路の過去5年間の空洞や陥没件数を伺う。

土木部長 令和2年度以降は、空洞の発見が42件、陥没が117件あった。

問 長寿命化や耐震化に向けた点検などを伺う。

土木部長 長寿命化に向けて、マンホール内に専用のカメラを挿入し、管内の状

況を確認する。劣化が確認された管ではさらに自走するテレビカメラ車を入れ、クラックなどの状況を確認する。耐震化に向けては、管のずれや液状化の発生などの判定を行っており、緊急輸送道路及び救急病院や避難所などの防災拠点施設につながる管路から計画的に行っている。

問 本市ではレーダーを照射する専用車両を所有しているのか伺う。

土木部長 本市は所有していないため、専門業者に委

託して調査している。

中央公民館の休館

問 利用団体への説明会の内容を伺う。

社会教育部長 説明会では休館の経緯や代替施設などの説明と質疑応答を行う。説明会後も個別相談を受けするなど、丁寧に対応していく。

問 休館期間中の代替施設について伺う。

社会教育部長 会議室などの利用団体については、団体登録要件を緩和した地区公民館を、大ホールについては、市内外の類似施設を利用してもらいたいと考えている。令和10年度以降に

については、7年度から庁内組織を立ち上げ、必要な機能やコストのほか、施設の規模や場所などの課題を整理し、検討を進めていく。

民生委員・児童委員

問 民生委員・児童委員の定数や選任方法、任期などを伺う。

福祉部長 定数は県の民生委員定数条例で定めており、本市の定数は408人、2月1日現在の選任者数は396人である。選任の際は、地域から選出された候補者を平塚市民生委員推薦会から県をとおして国に推薦し、厚生労働大臣が委嘱する。任期は3年で、

非常勤特別職の地方公務員とされており、守秘義務がある。また、民生委員法により活動は無報酬とされているが、交通費や通信費などは費用弁償として本市より活動費を支給している。

このほかの質問 平塚市地域防災計画の改訂 図書館行政と学校図書館

しらさぎ・無所属クラブ



渡部 りょう 議員 元島 しん 議員

日本共産党平塚市議会議員団

令和7年度は事業者・市民にあつたかい施策最優先で

高山 和義 議員



7年度施政方針から

問 市内事業者の賃金は上がっているのか伺う。

産業振興部長 本市は補助制度で事業者を応援しているが、実態を表しているかというところ少し違うと思う。

問 定額減税がなくなったことで、令和7年度は個人市民税が伸びているが、本市の6年度の定額減税の影響はどの程度だったのか伺う。

総務部長 定額減税減収分は約11億3千万円である。

子どもを育む環境づくり

問 ネット上など目に見えないいじめが増えていると考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 ウェブ上でのいじめは増えている。

問 いじめの把握や解決には、複数の目で子どもたちを見ることが大切である。サン・サンスタッフの複数配置について見解を伺う。

学校教育部長 各学校で必要な場所・場面などを見極めて重点配置している。

子どもを育む環境づくり

問 ネット上など目に見えないいじめが増えていると考えるが、見解を伺う。

学校教育部長 ウェブ上でのいじめは増えている。

問 いじめの把握や解決には、複数の目で子どもたちを見ることが大切である。サン・サンスタッフの複数配置について見解を伺う。

学校教育部長 各学校で必要な場所・場面などを見極めて重点配置している。

活気あふれる産業づくり

問 正規雇用を増やすための本市の対策を伺う。

産業振興部長 新たにウェブ求人サポートセミナーを開催し、そこに28社の応募

高齢者の想いに寄り添う環境づくり

問 少人数学級の実現に向けた考えを伺う。

学校教育部長 教職員の定数や配置基準は県教育委員会の決定であり、市独自の対応は難しいと考える。

問 本市の学校給食無償化に向けた実施予定を伺う。

企画政策部長 物価高騰分も含め、年間10億円以上の財源確保が課題である。国の動向を注視していく。

活気あふれる産業づくり

問 正規雇用を増やすための本市の対策を伺う。

産業振興部長 新たにウェブ求人サポートセミナーを開催し、そこに28社の応募

安心・安全で快適なまちづくり

問 平塚駅へのホームドア設置予定を伺う。

防災・危機管理監 現在、鉄道会社と協議をしており、令和7年度中に着工予

安心・安全で快適なまちづくり

問 平塚駅へのホームドア設置予定を伺う。

防災・危機管理監 現在、鉄道会社と協議をしており、令和7年度中に着工予

文化公園会館の設置及び管理等について

問 可動式の問仕切りの防音対策について伺う。

学校教育部長 運用開始後に検討していきたい。

問 教育や子育ての団体は減免対象となるのか伺う。

産業振興部長 細かい内容は施行規則で決めるため、時期を見て示したい。

そのほかの質問

公共下水道管緊急点検 龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業

日本共産党平塚市議会議員団

所属議員

松本 敏子 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案12案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 一般管理費の平和意識普及・啓発事業について、今年は戦後80年と、核兵器廃絶平和都市宣言から40年という節目になるため、1年を通して平和行事を行うとあるが、予定している行事を伺う。

答 7月の平塚空襲の頃に、命のビザを発給した杉原千畝氏の孫で

ある杉原まどか氏の講演会、8月頃に平和パネル17枚と複製画13枚を展示するいわさきちひろ氏の平和パネル展、12月の核兵器廃絶平和都市宣言の頃には、高校生が描いた原爆の絵のパネル展示を開催する予定である。また、広報ひらつかでも特集を組むなどして、1年を通じてさまざまな周年事業を行っていきたいと考えている。

問 防災対策費の防災訓練強化事業について、有事が起きるのは昼間だけとは限らず、夜間や寒期中、暑い中などさまざまである。

行政は、各自主防災組織にいろいろな状況を想定した各種防災訓練を行うよう伝えるべきだと思うが、見解を伺う。

答 夜間など、さまざまな状況が想定されるため、訓練の相談の際には伝える場合もある。以前、夜間のパトロールに絡めて、実際に夜間の地震体験などを行ったことがある。

問 農業振興費の新規就農者育成事業について、新規就農者がかなり減っており、手を挙げる人も少ないと思う。本市は大切な米どこ

ろであるため、ぜひ多くの人に担い手になってもらいたい。また、新規就農者支援もしてもらいたいが、これまでと同じ方法なのか、新しい策を広げていくのか伺う。

答 ワンストップ相談窓口では、新規就農者の相談件数も少しずつ増えている。その中で、ロードマップの作成や、新規就農者が自らヒアリングを行いながら活用した補助制度や支援制度をメモしてもらいガイドブックを令和7年度から作成し、支援につなげたいと考えている。

無所属



令和7年度新規・拡充
などの主な施策の中から

白井 照人 議員

中学校体育館 空調機設置

問 設置する目的と設置校の選定理由を伺う。

企画政策部長 授業や部活動などの暑さ対策と避難所の環境改善を図るため、築年数が古く、面積が異なる3校の中学校に設置する。

問 国や県などの補助金や助成金はあるのか伺う。

教育総務部長 空調設備整備臨時特例交付金や緊急防災・減災事業債などいくつかある。

問 有事の際の空調機の電源確保を伺う。

教育総務部長 発電機の検証と検討をしていく。

びわ青少年の家 魅力アップ

問 整備内容と期間を伺う。

インターネット中継

本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

提出方法などについては、市議会ホームページをご覧ください。



健康・子ども部長 インクルーシブ遊具の設置の要望は受けている。

東海道本通り 線の景観整備

問 令和7年度以降の無電柱化などの計画について伺う。

まちづくり政策部長 7年度から共同溝への電線の設置や既存の電柱撤去、北側歩道と同様の整備や植栽を計画している。

問 利用者からどのような意見があるのか伺う。

健康・子ども部長 食堂などへの空調機設置や宿泊棟のトイレのバリアフリー化、個別に利用できるシャワーブースを望む意見がある。

問 アスレチックコースの再整備について伺う。

平塚市文化公園会館の設置 及び管理を市民の視点から

佐藤 由美子 議員

産業振興部長 受益者負担の考え方に基つき施設にかかるコストや部屋の面積、使用時間などから算定しているが、施設の設置目的に合った団体は、減免を行う予定である。

面前DVなど子ども への心理的虐待対策

問 面前DVとは、子どもの前で配偶者を殴る、蹴

る、暴言を吐いて罵るなどの行為である。面前DVは子どもへの心理的虐待にあたり、現在増加している。本市は周知活動を行っているのか伺う。

健康・子ども部長

中学校の部活動 地域移行について

問 部活動を地域展開することでメリットもあるが、指導者の人員不足、家庭への経済的負担、指導員の資質の問題など課題も考えられる。部活動の在り方に対する見解を伺う。

学校教育部長

地域のクラブなどで活動する部活動地域展開と、部活動指導員などの地域人材を活用することなどによる部活動地域連携の両輪で、本市に適した部活動改革を推進していくことが重要だと捉えている。

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

都市建設

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 道路新設改良費の生活道路整備事業について、徳延38号線の工事費が計上されているが、工事費用と工事内容、その目的を伺う。

答 予算は約2500万円を計上している。工事内容は、徳延38号線に側溝の整備を行うもので、約120メートルである。目的は県の河内川の護岸整備に伴い、側溝を整備するものである。

問 建築指導費の建物の耐震性向上促進事業について、令和7年度の耐震診断や改修工事の見込み件数と、昭和56年以前の耐震基準の建物の数を伺う。

答 7年度の予算計上件数は、耐震診断が80件、耐震改修設計が55件、耐震改修工事が50件である。56年以前の旧耐震基準の建物の数は、平塚市耐震改修促進計画で公表している2年度時点での数値だが、1万3200戸と推計している。

教育民生

議案1案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は継続審査とすべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 戸籍住民基本台帳費のマイナンバーカード交付事業について、市役所の窓口を増設するとのことだが、期間を伺う。

答 当面は、電子証明書の更新のピークを迎える令和7年度から9年度の3年間で予定している。

問 教育指導費の放課後自主学習教室事業について、実施校と学習支援員に関して伺う。

答 松延小学校、大野小学校、神田小学校、みずほ小学校、勝原小学校、金目小学校で実施している。学習支援員は、実務経験者やOBが中心となっている学習支援コーディネーターや学習支援サポーターとしてサン・サンスタッフに手伝ってもらっている。また、学生サポーターとして、東海大学の児童教育学部の学生にも協力してもらっており、この3者を中心に運営している。

環境厚生

議案12案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 令和7年度平塚市一般会計予算

問 児童福祉費の子どもの未来支援事業について、令和7年度の具体的な取り組みを伺う。

答 6年度と同様に食事の提供を手段として訪問し、家庭の様子を確認する訪問型支援対象児童等見守り強化事業や居場所を設けて食事の提供や相談支援、地域における子どもの見守り体制の強化を支援する居場所型支援対象児童等見守り強化事業、訪問支援員が居宅を訪問して家事又は育児の支援を実施する子育て世帯訪問支援事業の3つを取り組む予定である。

問 予防費の健康増進事業について、がん検診や結核検診などのパンフレットを作成するとあるが、パンフレットの内容について伺う。

答 がん検診の受診勧奨と予防接種の情報提供である。予防接種については、接種するしないに関わらず、さまざまな情報を伝えたい

と考えている。

問 廃棄物処理費のごみ収集運搬事業の委託料の増額理由を伺う。

答 可燃ごみ及び資源再生物(ペットボトル・容器包装プラスチック)収集運搬の委託料について、7年度に新たな地区を委託するため、増額されている。

○議案第31号 令和7年度平塚市病院事業会計予算

問 国では2040年に向け、新たな地域医療構想の模索をしており、在宅医療・介護の連携も視野に入れる方向性も示している。今後の地域医療構想に向け、急増する高齢患者への対応として、平塚市民病院の考えを伺う。

答 地域の中で医療を完結させるという意味では、役割分担が重要であると考えている。高度急性期を担う当院は、救急の患者を多く受入れて重症患者を入院させるといった役割がある。その役割が終わった後は、ほかの病院に転院する締結を行っている。限られた病床を効率的に使用し、なおかつ入院が必要である市民の希望に応え、地域で調整できる運用を行っている。

審議の結果

市長提出議案

○は賛成　×は反対
(各会派の正式名称はページ左下に記載しています)

議案番号	件名	結果	清	公	湘	し	共	A	B
第1号	令和6年度平塚市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第2号	令和6年度平塚市競輪事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和6年度平塚市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和6年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和6年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第6号	令和6年度平塚市病院事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第7号	令和6年度平塚市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平塚市文化公園会館の設置及び管理等に関する条例	可決	○	○	○	×	×	×	○
第9号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理及び経過措置に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第10号	平塚市一般職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第11号	平塚市特別職員の給与に関する条例及び議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×	○	○
第12号	平塚市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第13号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び平塚市消防団員の任免、給与、定員、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第14号	平塚市営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第15号	平塚市の福祉会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第16号	平塚市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第17号	平塚市こども発達支援室の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第18号	重度障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×	○	○
第19号	平塚市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第20号	平塚市屋外広告物条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第21号	平塚市民病院職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
第22号	工事請負契約の締結について〔なぎさふれあいセンター改修工事（建築）〕	可決	○	○	○	○	○	○	○
第23号	工事請負契約の締結について〔なぎさふれあいセンター改修工事（電気）〕	可決	○	○	○	○	○	○	○
第24号	工事請負契約の締結について〔なぎさふれあいセンター改修工事（機械）〕	可決	○	○	○	○	○	○	○
第25号	令和7年度平塚市一般会計予算	可決	○	○	○	×	×	×	○
第26号	令和7年度平塚市競輪事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○
第27号	令和7年度平塚市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第28号	令和7年度平塚市水産物地方卸売市場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第29号	令和7年度平塚市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第30号	令和7年度平塚市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第31号	令和7年度平塚市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第32号	令和7年度平塚市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○
第33号	平塚市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○
第34号	平塚市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○
第35号	人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○
第36号	工事請負契約の締結について〔平塚市保健センターGHP空調機修繕〕	可決	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

会議案番号	件名	結果	清	公	湘	し	共	A	B
第1号	平塚市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○

報 告

報告番号	件名
第1号	専決処分の報告について

請 願

請願番号	件名	付託委員会	結果
令和6年 請願第5号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める請願書	教育民生 常任委員会	継続審査

会派名等の表記について

審議結果一覧表では、会派名等を略称で表記しています。正式名称等は次のとおりです。
清……清風クラブ（8名）
公……公明ひらつか（5名）
湘……湘南フォーラム（5名）
し……しらさぎ・無所属クラブ（4名）
共……日本共産党平塚市議会議員団（2名）
A……佐藤由美子（無所属）
B……臼井照人（無所属）

議会報編集委員会

編集委員 元島しん 久保田聡
岡崎通子 黒部栄三
議長 坂間正昭
副議長 出村 光

お知らせ

○市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。会議の開催日に平塚市庁舎本館8階にお越しください。
○5月臨時会は5月15日午前10時に開催の予定です。
○6月定例会の本会議と常任委員会は、右記日程での開催を予定しています。本会議と常任委員会は午前10時に開催の予定です。
○定例会本会議はケーブルテレビ（SCN）での生中継と当日夜の録画放送、インターネットでの生中継と録画中継の配信を行っています。
問い合わせ
平塚市議会 議会局 ☎0463-21-8791

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
6/1	6/2	6/3	6/4 本会議 [提案説明 など]	6/5	6/6	6/7
6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13 本会議 [総括質問]	6/14
6/15	6/16 本会議 [総括質問]	6/17 本会議 [総括質問]	6/18 本会議 [総括質問]	6/19	6/20 常任委員会	6/21
6/22	6/23 常任委員会	6/24	6/25	6/26	6/27 本会議 [表決など]	6/28